

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2007-524012(P2007-524012A)

【公表日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2007-032

【出願番号】特願2006-547094(P2006-547094)

【国際特許分類】

**E 0 4 D 1/28 (2006.01)**

**E 0 4 F 13/08 (2006.01)**

**B 0 5 D 7/00 (2006.01)**

**B 0 5 D 1/36 (2006.01)**

【F I】

E 0 4 D 1/28 A

E 0 4 F 13/08 A

B 0 5 D 7/00 L

B 0 5 D 1/36 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月12日(2007.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、

前記基材の外面の少なくとも一部の上の第一反射層であって、反射層および基材の組合せが少なくとも約 25 % の最小直接太陽反射率値 (minimum direct solar reflectance value) を示す第一反射層と、

前記第一反射層の少なくとも一部の上の第二反射層であって、前記第一反射層および前記第二反射層の組合せが前記基材に 770 ~ 2500 nm の間の波長範囲の実質上すべての点で少なくとも約 20 % の反射率を与える第二反射層と、

生物成長阻害剤、自己清浄成分、またはこれらの組合せから選択される保存剤と、を備える非白色建物表面。

【請求項 2】

前記保存剤が前記第一層の一部である、請求項 1 に記載の表面。

【請求項 3】

基材と、

前記基材の外面の少なくとも一部の上の第一反射層であって、前記反射層を有する前記基材が少なくとも約 25 % の最小直接太陽反射率値を示す第一反射層と、

前記第一反射層の少なくとも一部の上の第二反射層であって、前記第一反射層および前記第二反射層の組合せが前記基材に 770 ~ 2500 nm の間 (770 および 2500 nm を含む) の範囲で測定される少なくとも約 7,000 の加算反射率値を与える第二反射層と、

生物成長阻害剤、自己清浄成分、またはこれらの組合せから選択される保存剤と、を備える非白色建物表面。

【請求項 4】

前記保存剤が前記第一層の一部である、請求項3に記載の表面。

【請求項 5】

基材の外面の少なくとも一部に第一塗料を供給するステップと、

前記第一塗料を硬化して基材上に第一反射層を形成するステップであって、前記第一反射層が少なくとも約 25 % の最小直接太陽反射率値を示す、ステップと、

前記塗装基材上の少なくとも一部を覆って第二塗料を施すステップと、

前記第二塗料を硬化して第二反射層を形成するステップであって、前記第一反射層と前記第二反射層の組合せが、

( i ) 770 ~ 2500 nm の間の波長範囲の実質上すべての点で少なくとも約 20 % の反射率、および

( i i ) 770 ~ 2500 nm の間 ( 770 および 2500 nm を含む ) の範囲で測定される少なくとも約 7 , 000 の加算反射率値

の少なくとも一方をもたらし、ステップと、

前記基材上に保存剤を供給するステップであって、前記保存剤が生物成長阻害剤、自己清浄成分、またはこれらの組合せから選択される、ステップとを含む、非白色建物表面を作成する方法。

【請求項 6】

前記保存剤が前記第一層の一部である、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

こけら板基材と、

前記こけら板基材の外面の少なくとも一部の上の第一反射層であって、反射層および基材の組合せが少なくとも約 25 % の最小直接太陽反射率値を示す第一反射層と、

前記第一反射層の少なくとも一部の上の第二反射層であって、前記第一反射層および前記第二反射層の組合せが前記こけら板基材に 770 ~ 2500 nm の間の波長範囲の実質上すべての点で少なくとも約 20 % の反射率を与える第二反射層と、

生物成長阻害剤、自己清浄成分、またはこれらの組合せから選択される保存剤と、を備える非白色こけら板。

【請求項 8】

こけら板基材と、

前記こけら板基材の外面の少なくとも一部の上の第一反射層であって、前記反射層を有する前記基材が少なくとも約 25 % の最小直接太陽反射率値を示す第一反射層と、

前記第一反射層の少なくとも一部の上の第二反射層であって、前記第一反射層および前記第二反射層の組合せが前記こけら板基材に 770 ~ 2500 nm の間 ( 770 および 2500 nm を含む ) の範囲で測定される少なくとも約 7 , 000 の加算反射率値を与える第二反射層と、

生物成長阻害剤、自己清浄成分、またはこれらの組合せから選択される保存剤と、を備える非白色こけら板表面。